

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	福岡大学
設置者名	学校法人福岡大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計		
人文学部	文化学科		32			32	13	
	歴史学科		32			32	13	
	日本語日本文学科		32			32	13	
	英語学科		32			32	13	
	ドイツ語学科		32			32	13	
	フランス語学科		32			32	13	
	東アジア地域言語学科		32			32	13	
	教育・臨床心理学科		32			32	13	
法学部	法律学科		30			30	13	
	経営法学科		30			30	13	
経済学部	経済学科		32			32	13	
	産業経済学科		32			32	13	
商学部	商学科		28			28	13	
	経営学科		28			28	13	
	貿易学科		28			28	13	
商学部第二部	商学科	○	16			16	13	
理学部	応用数学科(応用数学コース)		26			26	13	
	応用数学科(社会数理・情報コース)		26			26	13	
	物理科学科(物理科学コース)		28			28	13	
	物理科学科(ナノエレクトロニクスコース)		28			28	13	
	化学科(化学コース)		28			28	13	
	化学科(ナノエレクトロニクスコース)		28			28	13	
	地球圏科学科		26			26	13	
工学部	機械工学科		32			32	13	
	電気工学科		32			32	13	
	電子情報工学科		32			32	13	
	化学システム工学科		32			32	13	
	社会デザイン工学科		32			32	13	
	建築学科		32			32	13	
医学部	医学科		24			24	19	
	看護学科		28			28	13	
薬学部	薬学科		26			26	19	
スポーツ科学部	スポーツ科学科		32			32	13	
	健康運動科学科		32			32	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

福岡大学公式 HP 公表

[\(https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/curriculum/\)](https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/curriculum/)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡大学
設置者名	学校法人福岡大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

福岡大学公式 HP 公表 (https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/organization/board/)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	九州電力(株) 相談役	R2.12.20 ～R5.12.19	総括（代表）
非常勤	(一社)福岡大学同窓会 有信会 名誉理事長	R2.12.20 ～R5.12.19	総括（補佐）
非常勤	西部ガス(株) 代表取締役会長	R2.12.20 ～R5.12.19	総括（補佐）
非常勤	九州旅客鉄道(株) 代表取締役会長	R2.12.20 ～R5.12.19	大学経営全般、 企画
非常勤	(株)九電工 取締役 副社長執行役員	R2.12.20 ～R5.12.19	大学経営全般、 企画
非常勤	福岡大学同窓会有信会 理事長	R2.12.20 ～R5.12.19	法人経営全般、 企画
非常勤	(株)九州リースサービス 代表取締役社長	R2.12.20 ～R5.12.19	法人経営全般、 企画
非常勤	(株)西日本フィナンシャル ホールディングス 代表取締役会長	R2.12.20 ～R5.12.19	大学経営全般、 企画
非常勤	西日本鉄道(株) 取締役相談役	R2.12.20 ～R5.12.19	大学経営全般、 企画
非常勤	博多港ふ頭(株) 代表取締役社長	R2.12.20 ～R5.12.19	大学経営全般、 企画
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡大学
設置者名	学校法人福岡大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 毎年度、教務委員会で審議・了承される「シラバス(授業計画書)作成のためのガイドライン」(以下、「ガイドライン」)は、本学で開講されているすべての授業について、授業の形態、概要、授業の到達目標、授業時間外の学習(予習、復習)、評価基準および方法、テキスト、授業計画をシラバスに記載するよう指示しており、各教員はこの「ガイドライン」に従ってシラバスを作成している。さらに、第三者によるシラバスチェックを実施することで「ガイドライン」の指示する項目の記載に万全を期している。また、シラバスは、学内については3月上旬にポータルで公開し、学外については4月上旬に大学公式HPで公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	福岡大学公式HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/curriculum/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各授業科目の担当教員は、シラバスに記載された「成績評価基準および方法」に従い、試験やレポート、授業への積極的参加などの平常点等、当該授業の到達目標の達成度を測定するのにふさわしい方法を用いて学修成果を厳格かつ適正に評価し、単位の認定を行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学では、大学での学修が単に卒業単位を取得するのみではなく、より真剣に学ぶことにより大学教育を実質化し、教育の質を保証するためGPAを導入している。GPAは、「卒業要件に関わる履修科目」および「課程科目を含む全履修科目」について、それぞれ「当該セメスターに履修した科目」および「当該セメスターまでに履修した全科目(通算)」のくくりで算出し成績通知書に付記している。

<GPA算出基準>

・履修した科目の成績評価は100点満点。点数に応じて、科目毎にGP評点を算出(下表参照)。

素点範囲	成績評語	GP評点
100～90	秀	4
89～80	優	3
79～70	良	2
69～60	可	1
59点以下	不可	0
試験放棄	放棄	0

<GPAの計算式と対象>

$$GPA = \frac{(秀の修得単位数 \times 4) + (優の修得単位数 \times 3) + \dots + (不可 \cdot 放棄の単位数の和 \times 0)}{秀 + 優 + 良 + 可 + 不可 + 放棄の総履修単位数}$$

※不合格となった科目を後に再履修して合格となった場合、セメスター毎のGPAはそれぞれの成績で算出するが、通算GPAは合格した際の成績のみを対象として算出。

※GPAは、2007年度から制度化し、上記算出基準は、公式HPをご覧ください。

※医学部医学科2年次以上の教育課程は、単位制ではなく時間制のため、成績評価における客観的な指標として、履修科目の総得点を用いる。

客観的な指標の算出方法の公表方法	福岡大学公式HP公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/support/institution/other/gpa.html
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)は、福岡大学基本計画委員会が作成した「ポリシーの見直しなどに関するガイドライン」に沿って、すべての学部・学位(教育)プログラム単位で、カリキュラム改正に併せて見直しが行われ、ポリシーの改正がある場合は、教授会審議、了承後、教務委員会、教育推進会議、大学協議会において審議、了承される。

なお、ディプロマ・ポリシーは大学公式HPにてすべて公開されており、ポリシーに沿って適切に卒業認定、学位授与が行われている。詳しくは、公式HPをご覧ください。

卒業の認定に関する方針の公表方法	福岡大学公式HP公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/aboutus/philosophy/policy.html
------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	福岡大学
設置者名	学校法人福岡大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/finance/
収支計算書又は損益計算書	福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/finance/
財産目録	福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/finance/
事業報告書	福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/reporting/
監事による監査報告(書)	福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/finance/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:学校法人福岡大学事業計画 対象年度:令和4年度)
公表方法:福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/reporting/
中長期計画(名称:学校法人福岡大学中長期計画 対象年度:令和2年度~令和6年度)
公表方法:福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/reporting/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-.ac.jp/disclosure/evaluation/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-.ac.jp/disclosure/evaluation/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

人文学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuokau.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>人文学部は、広範な一般教養を身に付けると同時に、すべての学問の基礎となる人文学諸分野の専門知識を修得し、他者との関係への配慮や自由と責任に基づく倫理観を備えた人間を育むことを教育理念とする。この理念に基づき、社会人として人間の精神と社会のあり方を多様な価値観の中で総合的に捉え、高度技術社会において人間の原点に立って行動できる人材を養成すること、及び外国語学習を通して異文化を理解し、日本と世界を結ぶコミュニケーション能力を持った国際人を養成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>人文学部の教育課程においては、以下に掲げる能力を備え、厳格な成績評価のもとで所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人文科学・社会科学・自然科学の諸分野に関する基礎的な知識を持ち、心身の健康や体力の維持・増進についての理解を持っている。併せて、人間が築いてきた有形・無形の知的な営み、それらを生み出し、育んできた言葉、人間そのもの、現代社会に関する諸研究についての専門的な知識を持っている。 2. 専門的な知識に基づいて、人文科学の諸領域に関わる諸事象の特質・背景や多様性、またそれらへの関わり方について理解し、説明できる。 3. 人間が蓄積してきた文献・資料・データを正確に読み解いたり、人間の営み・言葉・人間そのもの・現代社会の実相やそれらに関する言説を論理的に分析したりすることができる。併せて、これらによって得られた成果や見解について筋道を立てて他者に分かりやすく伝えることができる。 4. 発表や討論などの場において、他者の意見に耳を傾けて成果や見解を相対化しながら、コミュニケーションを円滑に取り、他者と協同して問題を解決したり、まとめたりすることができる。 5. 外国語については、話す・聞く・書く・読むという 4 つの技能をバランスよく身につけ、それを用いて情報を収集し、発信することができる。 6. 人間の営み、言葉、人間そのもの、現代社会に興味を持ち、新しい問題を発見し、その解明に積極的に取り組む志向性を持っている。 7. 社会的・文化的な背景が異なる多様な人々の思想や行動を柔軟に受け入れつつ、それらに能動的に関わっていかこうとする態度を持っている。 8. 人文科学の諸領域にかかる知識・技能を基にして現代社会の諸問題に的確に対処し、その解決策を見出そうとする志向性を持ち、更に卒業後もこの知識・技能を絶えず更新していかこうとする態度を持っている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>広範な一般教養を身に付けると同時に、人文科学諸分野の専門知識を修得し、他者との関係への配慮や自由と責任に基づく倫理観を備えた人間を育むことを教育理念として、次のように教育課程を編成し、その内容を保証するため、共通教育科目に加え、専門教育科目として学部の特徴を生かした必修科目・選択必修科目及び学ぶ者の主体性を生かして専門性を高める多彩な選択科目を設けている。共通教育科目では、人間の営み・言葉・人間そのもの・現代社会に対する興味を持ち、それらに関わる態度・志向性を身に付けるため、総合教養科目において人文科学・社会科学・自然科学の諸分野に関する基礎知識を学ぶと同時に、健康や身体に理解を持つため、保健体育科目を履修させる。また外国語の 4 技能</p>

(話す・聞く・書く・読む)をバランスよく身に付け、社会的・文化的な背景の異なる多様な人々を受け入れる柔軟性を持つため、必修科目の第一外国語に加え、第二外国語も選択必修科目としている。専門教育科目では、1・2年次のうちに大学で学ぶための基礎的な知識・技能を修得し、発表や討論などの場におけるコミュニケーションの取り方を身に付けるため、必修科目として少人数の基礎演習・入門演習などの科目を設けている。また各専門分野の基礎的な内容を幅広く学び、その方法論を修得するため、必修科目または選択必修科目として概論・講読・研究法などの科目を設けている。3・4年次では、各専門分野にかかる文献・資料・データを読み解いたり、社会の実相やそれらに関する言説を論理的に分析したり、発表や討論などの場において他者と協同して問題を解決したり、まとめたりする能力を育むため、必修科目または選択必修科目として少人数の演習・実習などを設けている。また学ぶ者が主体的に諸分野の専門知識を修得できるようにさせるため、選択科目として特講などの科目を設けている。4年間の学修の集大成として、専門的な知識・方法に基づいて問題を発見し、その解明に自ら進んで取り組む態度と資料・データを客観的に分析し、成果を分かりやすく記述する能力を総合的に活用するため、必修科目または選択科目として卒業論文・卒業研究を設けている。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：福岡大学公式HP公表
<https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/>)

人文学部では、広範な一般教養の修得を目指す人、また専門知識を修得したうえで、自由と責任に基づく倫理観を備えた社会人となることを目指す人を広く受け入れます。人文学部では、学校推薦型選抜および一般選抜いずれにおいても、意欲旺盛で人間味溢れる人の入学を求めています。

法学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>法学部は、法学（政治学を含む。）の学修及び研究を通じて、現代社会の諸問題に積極的に取り組み、地域社会、企業活動、公共分野及び国際社会に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、広範な一般教養を身に付け、法学の専門的知識及び法的思考力を有する人材を養成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>法学部の教育課程においては、以下に掲げる能力をそなえ、厳格な成績評価のもとで所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。1.人文科学・社会科学・自然科学に関する教養を基礎として、法学の専門知識とリーガルマインド（法的思考力）を身につけ、身近な法的問題について理解し、説明することができる。2.法学の専門知識を活かし、日常生活、公共分野、企業活動、地域社会、国際社会等において生起する法的問題を把握し、それについて解決のあり方を提示することができる。3.わが国および海外の法律制度や政治に関心を有し、現代社会の諸問題に積極的に取り組み、公共分野、地域社会および国際社会に貢献しようとする姿勢を持っている。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>法学部は、法律学科および経営法学科における教育を通じて、法学の基礎知識と法的思考力（リーガルマインド）を身につけ、これらを活かして現代社会に生起する諸問題を把握し、解決のあり方を提示することができ、かつ、公共分野、企業、地域社会、国際社会で活躍することができる学生を育成するため、以下のカリキュラムを編成します。[教育内容] 新入生全員を対象に少人数クラスの「法学部入門ゼミ」などによる導入教育を実施し、かつ、専門教育の基礎を学ぶため、「民法入門」、「民法総則」（法律学科においては「憲法Ⅰ」、「憲法Ⅱ」も含む）を必修科目として設置します。これらの基礎的知識を土台に、法律学科にあつては法律学・政治学に関する専門的知識、経営法学科にあつては企業法に関する専門的知識を習得するため、各学科の専門教育科目の基本となる主要な科目を選択必修科目として配置し、かつ、「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」などでの議論を通じて法的思考力を高めます。2年次からは、学科ごとに学生の関心と希望する進路に応じて選択できる複数のコースを設置します。法律学科にあつては「法律総合コース」、「公共法務コース」および「総合政策コース」を、経営法学科にあつては「企業法コース」および「国際コース」を設置し、コースの趣旨・目的に沿った科目（コース科目）を適切に配置します。さらに、コースごとに専門教育履修モデルを設定し、各コースに体系的・効果的に配置された授業科目を計画的に履修することができるようにします。このほか、意欲ある学生を対象に、法律学科に「法律特修プログラム」を、経営法学科に「企業法務特修プログラム」を設置し、また、語学力を活かして国際社会で活躍することを希望する学生のために海外研修科目を設置します。こうした専門的知識の習得とともに、人文科学・自然科学・社会科学に関する幅広い教養と英語を中心とした外国語の能力を身につけ、スポーツや運動を通じて健康や体力の維持・増進を図るため、総合教養科目、外国語科目、保健体育科目を設置します。[教育方法] 新入生を対象とする法学部入門ゼミなどの導入科目においては、大学の学習において必要となる基本的なスキルを学び、身につけるようにします。2年次以降の演習科目（演習Ⅰ・演習Ⅱなど）は、少人数で、学生が主体的に参加するアクティブラーニングを中心に行います。講義科目においても、適宜、アクティブラーニングを取り入れ、学生が自ら考え、参加する授業を実施します。こうした学生の学習をサポートするため、クラス担任をおき、学生の相談に応じたり、アドバイスを行ったりするほか、必要に応じて修学指導を行います。</p>

入学者の受入れに関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表
<https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/>）

法学部は、人材養成・教育研究上の目的を達成するために、

1. 人間性豊かな正義感・責任感の強い人
2. 現代社会の諸問題に問題意識を持ちその解決に強い意欲を有する人
3. 論理的思考力を身につけたい人
4. コミュニケーション能力を身につけたい人
5. 法学および政治学を学ぶにふさわしい基礎的学力・社会的常識のある人
6. 法学および政治学の専門知識を体系的に習得して社会貢献したい人
7. 国際社会において法学および政治学の専門知識を生かして活躍したい人の入学を求めています。

経済学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p>
<p>経済学部は、経済学的知の伝承と創造により、社会の調和ある発展と人類の福祉の向上に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、経済学における論理的思考力と実証的分析能力及び歴史的理解力を向上させ、経済学的知性と豊かな人間性、国際的な視野、旺盛な行動力によって社会の進歩と繁栄に貢献できる人材を養成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p>
<p>経済学部の教育課程においては、以下に掲げる資質・能力をそなえ、厳格な成績評価のもとで、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士（経済学）の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 共通教育を通じて幅広い教養を身につけているとともに、経済学に関する多くの専門的知識をもち、その諸理論を理解している。 2. 様々な経済問題に対する調査・分析能力および論理的な文章作成・説明能力など、実社会に役立つ技能を身につけている。 3. 自らが所属する社会の中で自分の役割を理解し、協調性を持ちながらその社会の進歩と繁栄に寄与することができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p>
<p>経済学部では、ディプロマ・ポリシー（DP：学位授与方針）に示した資質・能力を総合的に身につけている学生を育成するために、以下のカリキュラムを編成します。</p> <p>[教育内容]</p> <p>学問の基礎となる幅広い視野と知識を身につけるため、全学共通の多様性に富む共通教育科目を設置します。</p> <p>経済学の入門的な知識と学習方法を身につけるため、各学科の特徴を反映した入門科目や少人数クラスの「初年次演習」による導入教育を1年次に配置します。</p> <p>専門教育のための基礎科目として、「ミクロ経済学」および「マクロ経済学」を必修科目としてそれぞれ1年次の後期および2年次の前期に配置します。</p> <p>意欲をもった学生がグローバル化に対応できる能力を身につけるため、共通教育科目やG.A.P.科目に加え、専門教育科目として、「経済学ジョイントコース」、「海外研究者特別講義」などを配置します。</p> <p>専門教育科目の編成に関しては、履修の指針として経済学科では3つのコース、産業経済学科では2つのプログラムを準備し、それぞれの特色を組み込んだ科目群を配置します。</p> <p>[教育方法]</p> <p>順次性を重視した演習科目を2年次から4年次にわたって配置し、少人数教育を実施します。担当教員、学生相互で協力しながら、自らが選択した課題に対する分析・考察を行い、論文を執筆することで、課題探究・解決能力を身につけさせます。</p> <p>講義科目では、専任教員とともにスチューデント・アシスタントを配備し、経済学の理論分野の学習支援体制を整え、学生の自主学習をサポートします。</p> <p>専門教育科目の中に、実社会での経験豊富な社会人による講義科目、インターンシップなどを組み込み、社会において自己が果たすべき役割を担い、市民として責任ある行動をとる姿勢を身につけさせます。</p>

入学者の受入れに関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表

<https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/>)

経済学部は、次のような皆さんを私たちの学びの場に迎えたいと考えています。

1. 高い目標を持ち、将来に向けて自分を高める向上心を持った人
2. 経済への関心を有し、社会に貢献する志を持つ人
3. 情報を広く集めた上で、自らの言葉で考え語ることのできる人
4. 偏見のない広い心で世界と交流しようとする人
5. 友人と仲間を尊重し、自分を律することのできる人

商学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p>
<p>商学部は、大きく変化する社会的・経済的環境のもとで、商学研究を深化させ、研究成果を社会に還元することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、商学の知識及び理論を身に付け、これらを活用して問題の発見・解決に当たる能力を持ち、他者と協働して企業、地域等の発展を担う人材を養成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p>
<p>商学部および商学部第二部の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の知識、能力および資質を備えた学生に卒業を認定し、学士の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 商学に関する専門知識および人文・社会・自然科学に関する基本的な知識を身につけている。 2. 修得した知識およびコミュニケーション能力を活用して問題発見・解決に当たることができる。 3. 他者と協働して企業、地域等の発展に貢献することができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p>
<p>商学部および商学部第二部では、ディプロマ・ポリシーで掲げた知識、能力および資質を養うことができるように、講義科目および演習科目を体系的かつ段階的に編成します。</p> <p>1 年次には、各学科の基礎知識を学ぶために入門科目を配置します。また、大学における学び方を身につけるために小人数クラスの基礎ゼミナールを配置し、各人に適した指導を行います。さらに、実学である商学に必要な多種多様な知識、見識を修得するために、人文科学、社会科学、自然科学をはじめとする共通教育科目、経済学、法学等の関連教育科目を1年次から配置します。</p> <p>2 年次以降は、学生が専門領域ごとに体系的に学びを深められるように、年次進行に従って段階的に高度化する専門教育科目および関連教育科目を配置します。合わせて、修得した知識およびコミュニケーション能力を活用して主体的かつ協働して問題発見・解決に当たる力を高めるために小人数クラスによる専門演習科目を配置します。</p> <p>3 年次および4 年次には、この専門演習科目を中心として専門教育科目および関連教育科目の履修計画を立てます。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p>
<p>商学部および商学部第二部は、人材養成の目的を達成するために、次のような意欲を持った学生を広く受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域に根差したニュービジネスリーダーを目指す人 2. 人間性豊かなマネジメントリーダーを目指す人 3. ビジスマインドを持った国際教養人を目指す人 4. 働きながら商学を学びキャリアアップを目指す人 <p>また、その受け入れに当たっては、次のような点を特に重視します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本と世界の経済・社会問題に興味・関心を持ち、これらに関する幅広い知識を備えていること 2. 自らの関心や意見を言葉や数字などを使って的確に表現できること <p>さらに、商学部および商学部第二部での学修のためには、高校までの課程で、次のような点に留意して、勉学に励むことが求められます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校で基本とされる教科を幅広く、着実に学んでいること 2. 現代社会およびその他の社会科学の科目（地理や世界史、日本史、政治・経済）を深く学んでいること、基礎的な数学の力および語学力を身につけていること

3. 商業系の高校やコースでは、簿記・会計やマーケティング・商業などの基礎をしっかりと学んでいること

<p>商学部第二部</p> <p>教育研究上の目的（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>商学部は、大きく変化する社会的・経済的環境のもとで、商学研究を深化させ、研究成果を社会に還元することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、商学の知識及び理論を身に付け、これらを活用して問題の発見・解決に当たる能力を持ち、他者と協働して企業、地域等の発展を担う人材を養成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>商学部および商学部第二部の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の知識、能力および資質を備えた学生に卒業を認定し、学士の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 商学に関する専門知識および人文・社会・自然科学に関する基本的な知識を身につけている。 2. 修得した知識およびコミュニケーション能力を活用して問題発見・解決に当たることができる。 3. 他者と協働して企業、地域等の発展に貢献することができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>商学部および商学部第二部では、ディプロマ・ポリシーで掲げた知識、能力および資質を養うことができるように、講義科目および演習科目を体系的かつ段階的に編成します。</p> <p>1 年次には、各学科の基礎知識を学ぶために入門科目を配置します。また、大学における学び方を身につけるために小人数クラスの基礎ゼミナールを配置し、各人に適した指導を行います。さらに、実学である商学に必要な多種多様な知識、見識を修得するために、人文科学、社会科学、自然科学をはじめとする共通教育科目、経済学、法学等の関連教育科目を 1 年次から配置します。</p> <p>2 年次以降は、学生が専門領域ごとに体系的に学びを深められるように、年次進行に従って段階的に高度化する専門教育科目および関連教育科目を配置します。合わせて、修得した知識およびコミュニケーション能力を活用して主体的かつ協働して問題発見・解決に当たる力を高めるために小人数クラスによる専門演習科目を配置します。</p> <p>3 年次および 4 年次には、この専門演習科目を中心として専門教育科目および関連教育科目の履修計画を立てます。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>商学部および商学部第二部は、人材養成の目的を達成するために、次のような意欲を持った学生を広く受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域に根差したニュービジネスリーダーを目指す人 2. 人間性豊かなマネジメントリーダーを目指す人 3. ビジネスマインドを持った国際教養人を目指す人 4. 働きながら商学を学びキャリアアップを目指す人 <p>また、その受け入れに当たっては、次のような点を特に重視します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本と世界の経済・社会問題に興味・関心を持ち、これらに関する幅広い知識を備えていること 2. 自らの関心や意見を言葉や数字などを使って的確に表現できること <p>さらに、商学部および商学部第二部での学修のためには、高校までの課程で、次のような点に留意して、勉学に励むことが求められます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校で基本とされる教科を幅広く、着実に学んでいること 2. 現代社会およびその他の社会科学の科目（地理や世界史、日本史、政治・経済）を深く学

んでいること、基礎的な数学の力および語学力を身につけていること
3. 商業系の高校やコースでは、簿記・会計やマーケティング・商業などの基礎をしっかりと学んでいること

理学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>理学部は、自然科学と数理科学に関する分野の探究を通して社会の健全な発展に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、既知の事実と理論を学びながら、自然現象や数理を幅広い視野から理解し、論理力、分析力、創造力を修得し、総合的な視野から知識の活用ができ、豊かな人間性、社会性及び国際性を兼ね備えた活力ある人材を養成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>理学部の教育課程においては、厳格な成績評価のもとで、所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定し学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然や数理の諸現象に対する理解とその応用に必要な論理力・分析力・創造力を備えている。 2. 豊かな人間性、社会性および国際性を身につけている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>人材養成の目的を達成するために、理学部では次のカリキュラムを編成しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1、2 年次には、初年次教育、少人数クラスの講義、実習や演習およびゼミナール等によって自然科学全般にわたる基礎学力と思考力を養い、また共通教育によって幅広い教養、国際性および社会性を身につけることができるカリキュラム 2. 3、4 年次には、この基礎学力に加えて、多様な専門分野から学生自ら選択した分野について学び、自然現象等を幅広い視野から理解し、現象を解明する力を習得できるカリキュラム
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>理学部は人材養成の目的を達成するために、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校段階で習得しておくべき基礎学力を身につけている人 2. 数理や自然現象に興味・関心を持っている人 3. 幅広い教養、国際性、および専門分野についての高い能力を身につける意欲を持つ人の入学を求めています。

工学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>工学部は、良心に基づいた社会的責任感を有し、時代に即応した判断力と科学技術をもって社会の持続的発展に貢献する人材を養成することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、工学・技術に求められる豊かな創造性と実務に即した応用力を育成するために、十分な基礎学力に加えて深い専門の科学技術と、幅広い教養を修得させて調和のとれた人格の発達を促すことを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>工学部の教育課程においては、以下に掲げる能力を備え、厳格な成績評価のもとで所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然・人文・社会科学、語学など幅広い基礎知識を有する。 2. 技術者として健全な倫理観を有する。 3. 工学・技術分野の基礎的専門知識を有し、関連する典型的な現象を理論的に説明でき、さらに計算機・専門器具を用いた測定や分析・製作ができる。 4. 他人と論理的に意見交換することができ、協調性を有する。 5. 社会の要求に対応する積極性と持続力を有する。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>学部ディプロマポリシーに掲げる学士力を備えた人材を育成するために、以下のように体系的なカリキュラムを構成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 共通教育、工学基礎教育及び専門教育の 3 つの教育分野においてバランスよい教育を行う。 2. 学生が、高等学校教育課程の学習から円滑に大学教育へと移行できるように、導入教育を行い、更に専門科目では一部で少人数教育を取り入れて、深い理解を図る。 3. 国際基準に対応するために、JABEE の教育目標に準拠した内容を取り入れる。 4. 技術者に求められる積極性・協調性・持続性を養成するために、技術者倫理をはじめとする多彩な教育スタイルでキャリア教育を行う。
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>工学部は、人材養成の目的を達成するために、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安心して暮らせる安全な社会を工学・技術で実現したい人 2. 環境・エネルギー問題の解決に取り組みたい人 3. ものづくりに興味をもち、実験・実習が好きな人 4. 工学を学ぶに十分な基礎的学力（数学、物理、化学、英語、国語など）を有する人 5. 情報処理とコミュニケーションの基本的スキルを有する人 6. 他人の意見を辛抱強く聞ける人 <p>で、意欲のある活発で元気な人を求めています。</p>

医学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p>
<p>医学部は、生命の尊厳に基づいた全人教育を基盤として、社会のニーズや医療・福祉・地域に貢献できる人間性豊かな医療専門職者（医師・看護師・保健師・養護教諭・医学及び医療研究者）を養成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p>
<p>医学部の教育課程においては、以下に掲げる能力をそなえ、医療のプロフェッショナルとしての誇りと広い視野を持ち、厳格な成績評価のもとで所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な医療専門知識と技能を身につけている。 2. 主体的に課題を探索し、問題を科学的・論理的に解決することができる。 3. 保健・医療・福祉・公衆衛生等社会医学に国際的視野を持っている。 4. 人間性と倫理観に基づく医療現場での行動とコミュニケーション能力を備えている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p>
<p>[教育内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 共通教育科目：国際化に対応するための語学力、医療人としての幅広い教養やコミュニケーション能力、体力の育成を目標に、それぞれ、外国語科目、総合教養科目、保健体育科目を提供します。医学・看護学の主要な概念である「人間」・「健康」・「環境（社会）」に関する基礎的知識として、また、専門教育科目の基盤的教育としても位置づけています。 2) 早期臨床医学体験、研究室配属：低学年時からの臨床医学の入門的講義や早期臨床医学体験実習を通じて、医療における個人情報保護や生命倫理の重要性を修得し、早期から医療人としてのプロフェッショナルリズムを育成します。また、研究室配属による研究体験等を通じて、科学的問題に対応する研究マインドを涵養し、研究能力の重要性を学びます。 3) 基礎、臨床医学・看護学教育：科学、医療の進歩を踏まえ、医療、看護を学ぶ上での基盤となる基礎医学、基礎看護学、また、臨床医学、臨床看護学、社会医学、社会看護学の知識を低学年から高学年になるに従い段階的に積み上げ、診療や看護に応用できる総合的な医学・看護学の知識の修得を目指します。 4) 臨床実習：医療において病歴や診察所見に基づいた臨床推論を行い、また、適切な医療遂行のために必要な EBM (Evidence-Based Medicine) や医療安全・感染対策の知識、チーム医療の重要性を学び、POS (Problem-Oriented System) を用いて、適切な診療録の記載の仕方やプレゼンテーションのやり方を学びます。一方、看護において、人の特性を理解し、多様な場で看護が実践できる基礎的能力を養います。患者への共感的態度、説明・同意に基づいた患者の自己決定権の尊重など、全人的医療を目標とし、医療人としての基盤的素養を育成します。同時に、医師、看護師としての自尊心、向上心、リーダーシップ能力を育みます。 <p>[教育方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 科目別の系統講義、科目間連携による統合講義、医療安全、感染症に関する病院講習への参加により、基礎、臨床知識の縦断的、横断的な習得と医師、看護師としての基本的知識を修得します。 2) 主体的な学習姿勢、能動的学修能力、課題解決能力や実践能力の向上のために、小グループによる問題解決のための PBL (Problem Based Learning) や双方向型授業 (e-learning やポートフォリオ、レポート、ミニッツペーパー) 等の active learning を実践します。 3) 研究室配属による論文査読、レポート作成と発表、看護研究における論文作成と研究成果発表により、研究マインドの涵養を目指します。 4) 模擬患者を通じた疑似 (シミュレーション) 医療体験やロールプレイング、早期臨床実

習（地域基盤型医療体験、病棟看護実習）の体験実習により、実臨床現場の理解と医療者としての自覚を促進します。

5) 参加型病棟実習において医療チームの一員として、実際に患者を受け持ち、問診、診察、臨床推論、カルテ記載、症例発表、看護ケアなどの体験により、実践的な医療人の育成を目指します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表

<https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/>)

医学部は、人材養成の目的を達成するために、次のような人たちの入学を求めています。

1. 医学・看護学を学ぶにふさわしい基礎学力と感性を備えている人
2. 優れた医療専門職者になろうとする高い意欲と探究心を有する人
3. 心豊かで創造性に富み協調性を身につけた責任感の強い人

薬学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p>
<p>薬学部薬学科は、医薬品の開発や安全使用に関する基礎的、臨床的先端研究の推進をもって国民の健康と福祉に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、医療技術の高度化、医薬分業の進展に伴う医薬品の安全使用及び医療の担い手としての質の高い薬剤師の育成という社会的要請に応えるため、基礎科学の総合を基盤としながら、医療人としての使命感と倫理観を十分に理解し、高度な薬学の知識を身に付け、臨床に係る高い実践的な能力を備えた薬剤師、並びに教育・研究者を養成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p>
<p>薬学部の教育課程においては、以下に掲げる能力を備え、厳格な成績評価のもとで所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幅広い教養と基礎的科学的力を身に付け、高度な薬学の知識を理解している。 2. 薬の専門家として必要とされる臨床に係る高い実践的な能力を備えている。 3. 教育・研究能力を有し、医療人としての倫理観、使命感、責任感を持っている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p>
<p>[教育内容] 薬学部のカリキュラムは、広い視野と豊かな人間性・倫理観を養うための総合教養科目や保健体育科目、社会のグローバル化に対応するための外国語科目、基礎薬学、衛生薬学、医療・臨床薬学などの専門教育科目と実習、薬物療法における実践的能力を養うための実務実習、問題解決能力を養うための卒業研究、高度な薬学専門知識を涵養するための薬学アドバンスト科目から構成されている。</p> <p>[教育方法] 授業科目を共通教育科目と専門教育科目に分け、それらを体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を行う。すべての科目に一般目標(GIO)、複数の到達目標(SBO)、授業計画を設定し、予習・復習による学修効果を高める。実習科目では、少人数制で実践的な技術や技能を習得させ、自己表現力、コミュニケーション能力、問題解決能力・研究能力を養うためにスモールグループディスカッション (SGD)、ロールプレイ、プレゼンテーションなどを行う。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p>
<p>薬学科は人材養成の目的を達成するために、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 思いやりと倫理観を備えている人 2. 薬剤師として医療に貢献したい人 3. 探求心の旺盛な人 4. 科学に関する素養を有する人 <p>の入学を求めています。</p>

<p>スポーツ科学部</p> <p>教育研究上の目的（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>スポーツ科学部は、スポーツ・運動に関する人文科学、社会科学、自然科学及び各分野を融合した総合科学的研究を深め、それによって得られた知識を実践に生かすことを教育研究の理念とする。この理念に基づき、スポーツ界、教育界、産業界、官界、地域社会、医療分野等において、貢献し得る優秀な人材を養成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>スポーツ科学部の教育課程においては、以下に掲げる能力を備え、厳格な成績評価のもとで所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツや運動全般の科学的指導能力を備えている。 2. 専門とするスポーツ・運動の高い技能と指導能力を備えている。 3. スポーツ・運動の医科学的知識に基づく卒業論文作成能力を備えている。 4. スポーツ・運動を通じて得られた社会や職業活動に必要なコミュニケーション能力、課題解決力、倫理的思考力を備えている。 5. 人文科学、社会科学、自然科学および外国語の幅広い知識と教養を身につけている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>スポーツ科学部のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシー（DP）に示した人材を育成することを目的として編成されています。</p> <p>そのためのカリキュラムとして、1 年次より共通教育科目とともに基礎的な専門教育科目を配置し、学年が進むにしたがって学生個々の興味と関心に基づいて選択できる専門教育科目を多くしています。また、1 年次から就職等の進路を視野に入れて意図的、計画的に専門教育を進めることができるように、一部選抜制を含む推奨コースを設定しています。さらに、実技科目や演習科目は、理論と実践を統合した教育を体系的に行うために、少人数のクラスによる双方向の授業形態を多くとっています。</p> <p>スポーツ科学部は、自らが専門とするスポーツ種目の技能およびスポーツ全般にわたる科学的指導能力の向上を、また健康運動科学部は、健康運動・レクリエーションの科学的基礎知識に基づく実践・指導能力の習得をそれぞれねらいとし、各学科の特性にあったカリキュラムを編成しています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/policy/undergraduate/）</p> <p>スポーツ科学部は人材養成の目的を達成するために、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツを日常的に実践している人 2. スポーツや身体運動を対象に積極的に科学しようとする人 3. 競技スポーツにおけるパフォーマンスの向上を目指す人 4. 体育教員、スポーツコーチ、インストラクター、健康運動指導士などスポーツや健康全般にかかわる職種を目指そうとする人の入学を求めています。

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/organization/chart/</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
人文学部	—	79人	42人	11人	0人	2人	134人
法学部	—	28人	7人	3人	0人	0人	38人
経済学部	—	20人	10人	4人	0人	0人	34人
商学部	—	28人	14人	6人	0人	0人	48人
理学部	—	34人	20人	0人	42人	6人	102人
工学部	—	52人	20人	1人	56人	21人	150人
医学部	—	51人	26人	55人	83人	2人	217人
薬学部	—	27人	11人	11人	33人	0人	82人
スポーツ科学部	—	21人	7人	3人	16人	10人	57人
教養部（一般教育）	—	3人	0人	24人	0人	0人	27人
大学院	—	8人	3人	0人	0人	1人	12人
附属病院	—	19人	34人	67人	154人	497人	771人
付置研究所	—	0人	0人	0人	0人	0人	0人
その他	—	6人	10人	1人	2人	0人	19人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		776人					776人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：福岡大学研究者情報 https://resweb2.jhk.adm.fukuoka-u.ac.jp/FukuokaUniv/R101J_Action.do					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
新任教育職員を対象とした「新任教育職員研修会」や高等教育改革に関する「E-ラボ（Education-Labo）」、さらに組織的かつ継続的な教育内容教育方法等の改善を図る「教育改善活動フォーラム」等を行っている。詳しくは福岡大学教育開発支援機構HPをご覧ください。 http://www.idshe.fukuoka-u.ac.jp/seminar.html							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人文学部	605人	609人	100.7%	2,420人	2,484人	102.6%	—	0人
法学部	630人	630人	100.0%	2,520人	2,541人	100.8%	—	0人
経済学部	660人	662人	100.3%	2,640人	2,716人	102.9%	—	4人
商学部	665人	687人	103.3%	2,660人	2,745人	103.2%	—	1人
商学部第二部	165人	163人	98.8%	660人	654人	99.1%	—	2人
理学部	250人	248人	99.2%	1,000人	976人	97.6%	—	0人
工学部	700人	687人	98.1%	2,800人	2,828人	101.0%	—	0人

医学部	220人	215人	97.7%	1,100人	1,133人	103.0%	—	0人
薬学部	230人	235人	102.2%	1,380人	1,424人	103.2%	—	0人
スポーツ科学部	295人	299人	101.4%	1,180人	1,210人	102.5%	—	0人
合計	4,420人	4,435人	100.3%	18,360人	18,711人	101.9%	—	7人

(備考)
 本学学則(第23条1項)において、「本学に編入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、学長は、編入学を許可することがある」と定めているため、「編入学定員」を“—”とする。

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人文学部	611人 (100%)	40人 (6.5%)	477人 (78.1%)	94人 (15.4%)
法学部	642人 (100%)	10人 (1.6%)	523人 (81.5%)	109人 (17.0%)
経済学部	656人 (100%)	3人 (0.5%)	563人 (85.8%)	90人 (13.7%)
商学部	675人 (100%)	6人 (0.9%)	583人 (86.4%)	86人 (12.7%)
商学部第二部	121人 (100%)	2人 (1.7%)	89人 (73.6%)	30人 (24.8%)
理学部	223人 (100%)	36人 (16.1%)	165人 (74.0%)	22人 (9.9%)
工学部	607人 (100%)	81人 (13.3%)	486人 (80.1%)	40人 (6.6%)
医学部	186人 (100%)	3人 (1.6%)	94人 (50.5%)	89人 (47.8%)
薬学部	224人 (100%)	7人 (3.1%)	177人 (79.0%)	40人 (17.9%)
スポーツ科学部	283人 (100%)	8人 (2.8%)	249人 (88.0%)	26人 (9.2%)
合計	4228人 (100%)	196人 (4.6%)	3406人 (80.6%)	626人 (14.8%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)
 進学先：福岡大学大学院、九州大学大学院 等 (順不同)
 就職先：(株)福岡銀行、(株)コスモス薬品、(学)福岡大学、独立行政法人国立病院機構 等 (順不同)

(備考)
 その他の就職データは、福岡大学 キャリアセンターウェブサイトをご参照ください。

<https://www.career.fukuoka-u.ac.jp/recruiter/employment-data-report>

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(備考)

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>毎年度、教務委員会で審議・了承される「シラバス(授業計画書)作成のためのガイドライン」(以下、「ガイドライン」)は、本学で開講されているすべての授業について、授業の形態、概要、授業の到達目標、授業時間外の学習(予習、復習)、評価基準および方法、テキスト、授業計画をシラバスに記載するよう指示しており、各教員はこの「ガイドライン」に従ってシラバスを作成している。さらに、第三者によるシラバスチェックを実施することで「ガイドライン」の指示する項目の記載に万全を期している。また、シラバスは、学内については3月上旬にポータルで公開し、学外については4月上旬に大学公式HPで公表している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>【学修の成果に係る評価】</p> <p>各授業科目の担当教員は、シラバスに記載された「評価基準および方法」に従い、試験やレポート、授業への積極的参加などの平常点等、当該授業の到達目標の達成度を測定するのにふさわしい方法を用いて学修成果を厳格かつ適正に評価し、単位の認定を行っている。</p> <p>【卒業の認定】</p> <p>ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)は、福岡大学基本計画委員会が作成した「ポリシーの見直しなどに関するガイドライン」に沿って、すべての学部・学位(教育)プログラム単位で、カリキュラム改正に併せて見直しが行われ、ポリシーの改正がある場合は、教授会審議、了承後、教務委員会、教育推進会議、大学協議会において審議、了承される。</p> <p>なお、ディプロマ・ポリシーは大学公式HPにてすべて公開されており、ポリシーに沿って適切に卒業認定、学位授与が行われている。</p>
--

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人文学部	文化学科	128 単位	有	45 単位
	歴史学科	128 単位	有	45 単位
	日本語日本文学科	128 単位	有	45 単位
	教育・臨床心理学 学科	128 単位	有	45 単位
	英語学科	128 単位	有	45 単位
	ドイツ語学科	124 単位	有	45 単位
	フランス語学科	124 単位	有	45 単位
法学部	東アジア 地域言語学科	128 単位	有	45 単位
	法律学科	124 単位	有	40 単位
経済学部	経営法学科	124 単位	有	40 単位
	経済学科	128 単位	有	42 単位
商学部	産業経済学科	128 単位	有	42 単位
	商学科	128 単位	有	42 単位
	経営学科	128 単位	有	42 単位
商学部第二部	貿易学科	128 単位	有	42 単位
	商学科	124 単位	有	41 単位
理学部	応用数学科	128 単位	有	46 単位
	応用数学科 (社会数理・情報)	128 単位	有	46 単位
	物理科学科	128 単位	有	48 単位

	物理科学科 (ナノサイエンス)	128 単位	有	48 単位
	化学科	128 単位	有	48 単位
	化学科 (ナノサイエンス)	128 単位	有	48 単位
	地球圏科学科	128 単位	有	49 単位
工学部	機械工学科	130 単位	有	49 単位
	電気工学科	130 単位	有	49 単位
	電子情報工学科	130 単位	有	49 単位
	化学システム 工学科	130 単位	有	49 単位
	社会デザイン 工学科	130 単位	有	49 単位
	建築学科	130 単位	有	49 単位
医学部	医学科	53 単位 4,553 時間	有	61 単位
	看護学科	125 単位	有	48 単位
薬学部	薬学科	186 単位	有	49 単位
スポーツ科学部	スポーツ科学科	124 単位	有	46 単位
	健康運動科学科	124 単位	有	46 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/support/institution/other/gpa.html		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：福岡大学教育開発支援機構 HP 公表 http://www.idshe.fukuoka-u.ac.jp/ir.html		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/facilities/
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
人文学部	文化学科	730,000 円	190,000 円	180,000 円	教育充実費
	歴史学科				
	日本語日本文学科				
	教育・臨床心理学科				
	英語学科				
	ドイツ語学科				
	フランス語学科				
法学部	法律学科	730,000 円	190,000 円	180,000 円	教育充実費
	経営法学科				
経済学部	経済学科	730,000 円	190,000 円	180,000 円	教育充実費
	産業経済学科				
商学部	商学科	730,000 円	190,000 円	180,000 円	教育充実費
	経営学科				
	貿易学科				
	商学科				
商学部 第二部	商学科	310,000 円	60,000 円	80,000 円	教育充実費
理学部	応用数学科	1,000,000 円	240,000 円	380,000 円	教育充実費
	応用数学科 (社会数理・情報)				
	物理科学科				
	物理科学科 (ナノサイエンス)				
	化学科				
	化学科 (ナノサイエンス)				
地球圏科学科					
工学部	機械工学科	1,000,000 円	240,000 円	380,000 円	教育充実費
	電気工学科				
	電子情報工学科				
	化学システム 工学科				
	社会デザイン 工学科				
	建築学科				
医学部	医学科	3,912,000 円	1,000,000 円	3,688,000 円	教育充実費 特別教育充実費
	看護学科	1,040,000 円	270,000 円	470,000 円	教育充実費
薬学部	薬学科	1,350,000 円	400,000 円	290,000 円	教育充実費
スポーツ 科学部	スポーツ科学科	800,000 円	300,000 円	350,000 円	教育充実費
	健康運動科学科				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/support/ (取組の一例) <ul style="list-style-type: none">・ 正課外での学修（図書館の活用、情報システムの活用、海外研修・留学、キャリア形成への支援、資格取得・各種試験対策）・ 学修制度（GPA 制度、成績評価への説明開示、大学院受験（飛び級制度）、特待生制度）・ 学修サポート（『福大生のための学習ナビ』の配布、教員の授業フォローアップ（オフィス・アワー））・ 課外教育プログラム（学生チャレンジプロジェクト、学生生活安全あんしんセミナー）
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/support/ (取組の一例) <ul style="list-style-type: none">・ 個別指導・ キャリア教育・職業教育・ 情報提供・ 資格取得・採用試験対策
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/support/ (取組の一例) <ul style="list-style-type: none">・ 学生生活サポート・ 健康管理・ 学生相談

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：福岡大学公式 HP 公表 https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F140310110749
学校名	福岡大学
設置者名	学校法人福岡大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		1,695人	1,681人	1,785人
内 訳	第Ⅰ区分	1,007人	1,011人	
	第Ⅱ区分	420人	448人	
	第Ⅲ区分	268人	222人	
家計急変による支援対象者（年間）				35人
合計（年間）				1,820人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	
----	--

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	15人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	25人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	—		
「警告」の区分に連続して該当	68人		
計			
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	前半期	後半期	

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	—		
G P A等が下位4分の1	222人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	222人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。